

平成 31 年 1 月定例会

# 教育委員会定例会会議録

書記 扇 谷 剛 四

書記 工 藤 貴 裕

## 塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日 時 平成 31 年 2 月 14 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 40 分

◆場 所 壺番館 4 階 市民図書館視聴覚室

### ◆出席委員

教 育 長	高 橋	睦 麿	教育長職務代理者	柴 田	仁 市 郎
委 員	太 田	忍 委	員	佐 浦	弘 一

### ◆欠席委員

委 員	池 野	暢 子
-----	-----	-----

### ◆事務局

教育総務課長	本 田	幹 枝	学校教育課長	遠 山	勝 治
生涯学習課長	伊 藤	英 史	市民交流センター館長	伊 東	英 二
教育総務課総務係長	扇 谷	剛 四	教育総務課主査	工 藤	貴 裕

### ◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 教育長報告
  - ① 本市の教育活動の状況について
- 5 教育部長報告
  - ① 市議会定例会等について
- 6 専決処分報告
  - ① 予算案に対する意見について  
(平成 30 年度一般会計補正予算) (平成 31 年度一般会計当初予算)
- 7 議案
  - ① 議案第 1 号 教職員の人事について【秘密会】
- 8 その他報告
  - ① 学校給食費の改定について
  - ② 平成 30 年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査
  - ③ 伊達綱村公の解説パネルと石碑の寄贈について
  - ④ 塩竈市スポーツ賞表彰について
- 9 閉会

## 1 開会 午後1時30分

## 2 前回会議録委員の署名

佐浦委員から報告、承認

## 3 会議録署名委員の指名

柴田委員と太田委員を指名

## 4 教育長報告

(1)高橋教育長から、以下のことについて報告

### ① 本市の教育活動の状況について

〔主な質疑〕

- ・ 太田委員 浦戸小中学校への入学・転入学について、不可とした2名はどのような基準で不可としたのか。
- ・ 遠山学校教育課長 入学審査のやり方は、浦戸小中学校教員4名でグループを組み、安全面で大丈夫か、協調性があるか、自主学習ができるか等、総合的に審査している。不可とした2名については、船で通学することなることから、安全面で不安があったことや、船勉をすることとなるため、一人で自主学習が出来ないという点から、不可とさせていただいた。
- ・ 高橋教育長 浦戸小中学校については、船で通うことになることから、安全面を第一に考えている。四六時中見ている訳にはいかないの、一人で行動した時に危険だと駄目。また、協調性も重要だと考えている。先生の指示にきちんと従えるかどうか。この関係性が崩れてしまうと、今いる子供達の教育環境が悪化してしまうことから、そうした観点から、点数化して判断している。その結果については、親御さんに説明して、ご納得いただいているところである。
- ・ 柴田委員 浦戸小中学校を志望される方の理由は何か。
- ・ 遠山学校教育課長 特別な自然体験学習ができる等、志望理由は様々だが、どうしても今の学校に馴染めないという理由で、浦戸小中学校を志望される方もいる。ただ、体験入学の中で、しっかり出来ると判断できれば、そうした子も受け入れている。
- ・ 高橋教育長 創設した時に、島の方々とのお約束で、不登校のための学校や特別支援のための学校にはしないで欲しいとの話があった。特別支援学級は浦戸小中学校に無いことや、船での移動の安全面から、特別支援を要する場合はお断りをしていた。ただ、実際に授業をしていく中で、どうも発達障害を疑われるような子も今までにいたことから、きちんと専門家に

見てもらって判断しましょうということで、コラソンの青木先生も審査に加わっていただいている。

## 5 教育部長報告

(1) 本田教育総務課長から、以下のことについて報告

### ① 市議会定例会等について

〔主な質疑〕

- ・ 佐浦委員 私は、塩竈市公共施設再配置計画審議会の委員となっているが、その中で、委員の皆様からの関心が高かったのが、学校施設をどう活用していくかであった。学校施設は地域コミュニティーの核であることから、上手く活用を図っていくべきではないかという話であった。その席で、校長会長として、弓田校長先生が来られていて、学校の空き教室については、学校活動で様々に利用することから、単純に学児童生徒数が少なくなったからといって、教室が不要になるということではないことを理解して欲しいと述べていた。このことから、学校の長寿命化については、必要なことだろうと感じた。もう一つは、学校給食についてであった。給食をどう食育に活かしていくかが、皆様の関心が高いようであった。最終的には給食センター化したとしても、上手く食育が取り入れられるようにして欲しい。
- ・ 高橋教育長 学校というのは各地域の拠点だということで、統廃合はしないという方向でありながらも、ただ、市全体の施設を24%削減しないと財政的に難しいということであった。では、どうすれば良いかということで、不要なものを切ったり、転用したりすることで、その数値を達成できるように、今後、検討していきたいと考えている。ただ、転用するとしても、学校の施設内であることから、子供達の安心・安全をどう担保するのかという点も考えていきたい。
- ・ 柴田委員 学校の統廃合については、本市では、小中一貫教育をおこなっており、現在、施設分離型でおこなっているが、施設一体型でのメリットも考えなくてはならないのではないかな。
- ・ 高橋教育長 施設一体型で小中一貫教育をおこなっている他市のように、小学校と中学校の校庭を別々に整備できるような所であれば良いが、本市の場合そうはいかない。子供達の安全面を考えたときに、小学生と中学生を同じ校庭で遊ばせるというのは、無謀であると考えている。統廃合することで、今までの学習環境が低下するようでは、意味の無いことなので、そうした観点からも学校施設の今後を検討したい。

## 6 専決処分報告

(1) 本田教育総務課長から、以下のことについて報告

- ① 予算案に対する意見について  
(平成 29 年度一般会計補正予算) (平成 30 年度一般会計予算)

[主な質疑]

なし

## 7 議案

(1) 高橋教育長から、以下のことについて報告。

- ① 教職員の人事について【秘密会】

(委員全員異議なし) 原案のとおり可決

## 8 その他報告

(1) 本田教育総務課長から、以下のことについて報告

- ① 学校給食費の改定について

(2) 遠山学校教育課長から、以下のことについて報告

- ② 平成 30 年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査について

(3) 伊藤生涯学習課長から、以下のことについて報告

- ③ 伊達綱村公の解説パネルと石碑の寄贈について

- ④ 塩竈市スポーツ賞表彰について

[主な質疑]

- ・ 柴田委員 全国体力・運動能力・運動習慣等調査について、実施時期はいつなのか。
- ・ 遠山学校教育課長 4 月から 7 月の間に実施することとなっており、実施日については、各校に任せている。
- ・ 柴田委員 子供達の体力は、4 月初めと 7 月末では、全然違う。同じことを 2、3 回練習しただけでも数値は上がるのではないか。
- ・ 遠山学校教育課長 委員のおっしゃるとおり、やり方や準備の仕方で全然違うものとなるので、学校にも指導していきたい。
- ・ 太田委員 学校給食費の改定について、給食費の未納については、現状どうか。
- ・ 本田教育総務課長 納付率は 99%となっている。マニュアルを作成し、統一的なやり方で、段階を踏んで対応していることが、功を奏していると考えている。
- ・ 高橋教育長 納付率が 99%になったのは、事務の集中管理ということで、事務支援室を設置してからである。
- ・ 太田委員 残食についてはどうか。

- 本田教育総務課長 具体的な数値は把握していないが、残食は減ってきていると感じている。
- 佐浦委員 米飯給食を増やすとのことだが、調達はどうしているのか。補助等はあるのか。
- 本田教育総務課長 学校給食用の米の価格については、宮城県米飯学校給食普及拡大推進委員会で決定しており、JA が事務局になっている。そこに対して補助金の交付がおこなわれており、補助については、価格に反映されている。

## 9 閉会 午後 3 時 40 分

《会議録署名委員》

1 番委員

(柴田委員)

2 番委員

(太田委員)